

# 学位プログラムを どうデザインするか？

—歴史学分野におけるチューニングの事例から—

Rethinking Ways to Design Degree Programs: An Example of Tuning in the History Discipline

2014 年 9 月 1 日 (月) 14:00~17:00 (受付 13:40~)

会場：京都大学 芝蘭会館別館

日本の大学では、2008 年の学士課程答申以来、学生の学修成果をみすえながら学位プログラムをどうデザインするかが課題とされてきました。学位プログラムをデザインするにあたって参考になるのが、ヨーロッパに始まり世界中に普及しつつあるチューニングの手法です。

チューニング (Tuning) とは、さまざまな学問分野の知識・技能・方法を明確化するために、各分野の専門家を集めて行われてきた協働的な取組です。チューニングの参加者は、そこからそれぞれの大学にもどり、各分野の目標やカリキュラムを、自分の大学の文脈にあわせて調整し (tune)、調和させることに取り組んできました。

ユタ州高等教育機構 (The Utah System of Higher Education) は、ルミーナ財団から助成金を得て、2009～2011 年の 3 年間にわたり、歴史学と物理学においてチューニング・プロジェクトを進めてきました。なかでも、ユタ州立大学 (USU) の歴史学部は、ユタ州の各大学間で共有した歴史学のコンピテンシーと学修成果を学位プログラムと各科目に組み込むことに成功し、その取組は、米国歴史学会 (American Historical Association) を通じて、全米規模に拡張されるに当たっています。

今回のシンポジウムでは、ユタ・チューニング歴史学チームのメンバーをつとめられたユタ州立大学副学部長のダニエル・マッキナーニー教授と、海外でのチューニングの動向に精通しておられる国立教育政策研究所の深堀聰子氏をお招きしました。

どのようにして教員間・大学間で合意を形成し、プログラムをデザインしていったのか、どんなインパクトがあったのか、チューニングは日本での学位プログラムの編成にどんな示唆をあたえるのか。ともに考える機会にしたいと思います。

## Daniel McInerney (ユタ州立大学歴史学部 教授)

ユタ州歴史学 Tuning チーム・メンバー、ユタ州立大学歴史学部副学部長・一般教育課程委員会委員、Tuning USA 顧問、米国歴史学会 Tuning プロジェクトのアドバイザーとして、歴史学分野における Tuning の理論と実践を牽引。専門は米国史。著作物に The Fortunate Heirs of Freedom: Abolition and Republican Thought. University of Nebraska Press, 1994; A Traveller's History of the USA. Windrush Press/ Interlink Books, 2000; "Rubrics for History Courses: Lessons from One Campus." Perspectives on History, October 2010 等。米国バーデュー大学大学院歴史学研究科修了



## 深堀 聰子 (国立教育政策研究所 高等教育研究部・総括研究官)

OECD-AHELO (経済協力開発機構・高等教育における学習成果調査) を担当。AHELO の工学・経済学のテスト問題が、Tuning のコンピテンス枠組にもとづいて作成されたことから、Tuning に関する調査研究に取組む。著作物に『欧州教育制度のチューニング - ボローニャ・プロセスへの大学の貢献』(J. ゴンサレス・R. ワーヘナール編著、深堀聰子・竹中亨訳) 明石書店、2012; 「チューニングによるコンピテンス枠組の構築と学位プログラムの設計」『IDE 現代の高等教育』No.560 (2014 年 5 月号) 等。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程中退、コロンビア大学大学院教育学研究科修了。



参加費無料 / 逐次通訳あり / 定員 60 名 (先着順)

申込方法：下記 URL からお申し込み下さい。

[http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/apply\\_form/20140901WorkShop/mailform.html](http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/apply_form/20140901WorkShop/mailform.html)

主催：京都大学高等教育研究開発推進センター

協賛：河合塾教育研究開発本部、関西地区 FD 連絡協議会

# 学位プログラムをどうデザインするか？

—歴史学分野におけるチューニングの事例から—

## タイムテーブル

### 14:00 セッション1 講演

**開会挨拶** 飯吉 透 (京都大学高等教育研究開発推進センター センター長)

**14:05 講演1** 深堀 聡子 (国立教育政策研究所高等教育研究部 総括研究官)  
「チューニングとは何か？—目的、プロセス、教育政策への示唆」

**14:20 講演2** ダニエル・マッキナーニー (ユタ州立大学歴史学部 教授・副学部長)  
「歴史学のコアと歴史学学位プログラムの開発—USUでの経験から」

**15:30 休憩**

### 15:45 セッション2 パネルディスカッション

**司会** 溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)

**指定討論** 松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)  
「京都大学の教育改革—チューニングから何を学ぶか？」

#### パネルディスカッション

パネリスト：ダニエル・マッキナーニー、深堀 聡子、松下 佳代

**16:55 閉会挨拶** 飯吉 透

**17:00 閉会**

## アクセス

関西空港より京都駅へ JR 関空特急「はるか」で約 75 分

京都市バス：JR 京都駅より市バス D2 のりば (206 号系統)

阪急河原町駅、京阪祇園四条駅より (201, 31 系統)

京大正門前下車徒歩約 2 分

京阪電車：出町柳駅下車徒歩 15 分

※駐車スペースがございませんので、公共交通機関のご利用をお願い致します。



問い合わせ先：京都大学高等教育研究開発推進センター (担当：林 路子)

550center@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

主催：京都大学高等教育研究開発推進センター

協賛：河合塾教育研究開発本部、関西地区 FD 連絡協議会